

洋友会会員の鈴木 治です

毎回洋友岐阜を拝読しております。

9月4日号にて家庭菜園の情報交換の記事がありましたので良かった例を紹介します。

トマト栽培方法（すでにご存じの方もあられるかもしれませんが）添付しましたトマト連続
摘真芯栽培にて良い結果を得ています。

1本で6～7段（4～5個／段）で25個以上の大玉が取れます。

注意すべき点は

- ① トマトの重みで枝が折れてしまうので折れないようにひもで吊るなどの対策が必要
 - ② ペンチで曲げる必要なくひとりでに曲がっていきます。
 - ③ トマトトーンは必ず必要
 - ④ 肥料は多量に入れます（近所の方はこんなに太らせては実がつかないと言っています）
 - ⑤ 萎凋病、青枯れ病などの病気が出ないこと
- ⑤については 米ぬかを使用した土壌還元消毒で対策を行っています

この消毒によって茄子、トマト、エンドウ、インゲン豆は毎年同じ場所で栽培しています。

（この消毒を2～3年続けると今では病気も出ず連作障害もありません、茄子も秋まで連続して収穫できます。また米ぬかが結果的に良い肥料になっています。）

これは毎日収穫する上記の野菜は自宅の畑で、たまに収穫するサツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、瓜類等は自宅から離れた畑で という考え方です。

茄子はテントウムシだましとホコリダニ対策が必要です。ホコリダニは水道のホースで最強して先端に吹き付けると3回ほどでなくなります。（この点では自宅に水道があるので便利）

毎年いろいろ失敗もありますが以上が良かった例です。